

【第65回ラジオ番組審議会議事録】

1 開催日時

平成29年11月28日（火）16時00分～16時45分

2 開催場所

BAN-BAN ネットワークス本社 1階会議室

3 委員の出席

委員総数 8名

出席委員数 7名

出席委員の氏名 壁 貴義 河合勝彦 木下準一郎 竹内茂雄 細田享子
本山政幸 若松千恵子 （敬称略）

放送事業者側出席者名 山根直也 大竹良次 江村直樹 藤井良一 石川麻優

4 議題 「かこよみ春夏秋冬」について

放送日時：平成29年10月5日（木）19時～19時28分

出演：大西淳滋郎・松崎正誠・吉田実盛 / 聴き手 高山麻希

- ① 番組全体の印象をお聞かせください。
- ② 暦に関する耳慣れない言葉も登場しますが、聴きづらさはありませんでしたか？
- ③ 6年半以上続く長寿番組ですが、季節の話題をより楽しんでもらうためにお気づきになったことがあればお願いします。

5 議事の概要

- ・番組審議は、事前に番組聴取の上、議題について話し合った。

6 議事の内容

- BAN 司会 それでは、本日の審議に入ります、まずは番組について担当課長よりご説明いたします。
- 担当課長 今回の「かこよみ春夏秋冬」は、形を変えながら7～8年続いている番組です。日岡神社の禰宜の方と鶴林寺の住職の方、ごらくや仏壇店の社長が出演しています。聞き手の高山麻希さんは、明るいキャラクターで番組をうまくまとめています。高山さん自身の番組の影響もあり、録音番組ですがよく聴かれています。
- BAN 司会 まずは、番組全体の印象、聴きづらさなどといった点から感想をお聞かせください。
- A 委員 安定した番組ですね。高山さんの話に誰ものっからないときがあるのが気になりました。いちじくの話から不老不死の話題へのつながりも無理やり感がありました。暦の勉強をしている人は面白く感じると思いますが、聴く人を二分する番組ですね。
- B 委員 番組の冒頭が暗く感じました。そういう演出なのかと思いましたが、いちじくの話ではハイテンションで統一感が感じられませんでした。
- C 委員 トークのつながりの悪さを感じました。いちじくの話で、「嫌い」という話をあんなに引っ張らなくてもいいのにと思いました。事前に打ち合わせなどはないのでしょうか。男性3人なので声分かりづらいですね。神道の話はすごく面白かったです。祭りで使われる「紙垂」は何の目的で使われるのか結局分かりませんでした。聞き手を二分する番組だと思いますが、わたしは好きな内容だったので、ずっと入ってきました。
- BAN 司会 打ち合わせについては、事前に行っているのでしょうか。
- 担当主任 テーマなど書いた進行表を出演者それぞれに事前に送った上で、当日打ち合わせをしてから番組を収録しています。
- D 委員 運転しながら5～6回聞いてみましたが、耳に入ってきませんでした。男性が3人いたのも何度も聞いてやっと分かったほどでした。高山さんの声があったのがよかったです。どんなときに聞く番組なのか考えていたのですが、仕事のあとに聞いていると季節の話題や静かなBGMで癒しの番組だと感じました。番組を聞いていると、いちじくや祭りといった季節を感じる言葉や古事記といった単語が入ってきて、そこから季節を感じたり、古事記を読みたいと思ったりしましたが、内容は入ってこなかったです。
- E 委員 「水初めて枯る」「寒露」など二十四節気や七十二候は、日常生活に密接に関わっているのに馴染みがないものを取り上げられていて良かったです。教養番組なので、ながら聞きはできないですね。30分という番組の中でト

ピックがたくさんあり、話題転換のテンポもよかったです。秋祭りの話で、播州地域の秋祭りがなぜ激しいのか解明できていなかったですね。番組中に出演者の肩書きの紹介がなかったですが、この番組については紹介があった方がよかったですのではないのでしょうか。

担当主任 肩書きについては、番組を開始した当初は紹介していたのですが、出演者の神職の方が他の神社に配慮されて肩書きの紹介を辞退されたため、他の出演者もそれに倣い肩書きは紹介しない方針になりました。

F 委員 肩書きの紹介がなかったことについてはわたしも気になっていました。番組中に出てくる言葉は、文字で見ると分かるけれど、耳で聞いただけでは分かりづらかったです。番組を聞いていると、吉田さんがメインなのかなと感じる部分もあるので、もっと高山さんがトークを回すようにするとメリハリがついて良いのではないのでしょうか。

G 委員 落ち着いた番組ですが、少し堅苦しく感じました。二十四節気や七十二候は普段なかなか触れる機会がないので、番組が進みながら自然と教えられているようで、最後まで聞いていました。

E 委員 いちじくの話はああいう形で終わらせない方が良かったですね。好き嫌いはあるでしょうが、あんなに引っ張るのはいかがなものでしょうか。

A 委員 いちじくの話では、「ミステリアス」というワードが出ました。ミステリアスというところから、いちじくは実の中に花があるが、どうやって受粉するのかといった方向に話題を展開させることもできたと思います。

BAN 司会 6年半以上続く番組ですが、季節の話題を今後より興味深く聞いてもらうために、

お気づきになられた点がありましたら、お聞かせください。

F 委員 ターゲットとしているリスナー層は高めの年齢とすることですが、BAN2のメイン層やラジオでの番組ということを考えると、もっと中身を噛み砕いて広い世代に分かりやすい表現を目指した方がよいのではないのでしょうか。

B 委員 コーナーによって内容が薄いところと専門性が高いところの差がありすぎるように感じます。長寿番組だけに盲点もあるのでは？

E 委員 二十四節気や七十二候は中国から入ってきたものです。日本的なものとは何があるのか、それをこの番組で示せるといいですね。例えば、チベットにもおみこしはあります。みこしの起こりについて、もっと突っ込んで話をしてほしかったですね。

A 委員 二十四節気は四季だけでないのが良いですね。歳時記のツボは、秋祭り期間中のタイムリーな情報だったのに、スケジュールを羅列するだけでした。聞いて行ってみようと思う工夫が欲しいですね。

D 委員 元々のいわれなど、もっと深く知ることができるとよかったですね。

- G委員 テーマを決めると聴く層が絞られてしまうと思うので、話題選びが難しいと感じました。みこしの話ひとつとっても、掘り下げれば色々な話題が出てくるので、いくつものテーマで話すのもいいですが、話題を絞って一つ一つを深く話すのもいいのではと感じました。
- C委員 歳時記のツボは、三木市や大塩の話もありました。もっと、東播磨にこだわってもいいのではないのでしょうか。
- BAN 司会 そのほか、お気づきになられたことがあればお聞かせください。
- E委員 一つ一つのトピックのサイズ感は良いと思いました。ラジオを聞いて映像が浮かぶのが理想ですが、この番組では、いちじくや秋祭りの映像が浮かんできました。
- BAN 司会 本日も活発な議論ありがとうございました。

7 審議機関の答申又は改善意見に対して採った措置およびその年月日

なし

8 審議機関の答申又は意見を公表した場所における公表内容、方法、年月日

公表内容・・・審議の内容

公表方法

- ・事務所に備置き 平成29年12月19日（火）から
- ・番組「あさスパ!」において放送 平成29年12月19日（火）9時20分頃
- ・ホームページに掲載
平成29年12月19日（火）から

9 その他参考事項

なし